

第 6 回 医療安全業務外部監査委員会監査報告

1. 開催日 : 令和元年 12 月 6 日 (金) 14:03～15:40
2. 会場 : 大阪医科大学 特別応接室 (新講義実習棟 4 階)
3. 出席者 : 小林一朗委員長、西 信一委員、家郷資大委員
田中和子委員、佐野浩一委員
- 説明者 : 内山和久 (病院長)、根尾昌志 (医療情報管理部部長)、
上田英一郎 (医療総合管理部副部長)
- 事務局 : 木村、藤岡 (病院事務部)、記伊、脇田 (総務課)

監査結果報告としては、以下のとおりである。

今回は、関連部門に資料の提出を求め、本院の医療安全管理体制が確実に機能しているかどうか監査された。

管理者である病院長と医療総合管理部部長及び副部長から前回に意見として付された事項の改善状況についての説明と医療安全推進室の活動状況についての詳細な説明があり、その後質疑応答が行われ、総じて適正な方向で対応が施されているとの見解が示された。

本日の委員会において、医療法施行規則第 9 条の 23 第 1 項第 9 号の二により、次の 3 点について開設者及び管理者に意見表明された。

- ①サンキューレポート、特にヒヤリハット、インシデント、アクシデント、合併症について、医師からの報告が上がりやすくするように引き続き取り組むこと。
- ②利用件数が増加しているインフォームド・コンセントの様式の内容を精査してより使いやすくし、患者やチームで IC 記録の共有を一層促進すること。
- ③「医療被害者からの応援メッセージ」のような研修会の開催は医療安全への取り組みとして高く評価できる。今後は、出席者あるいは DVD 上映会参加者の状況を確認し、参加者が少ない職種には参加を促すような取り組みを期待する。

なお、次回は令和 2 年 7 月 10 日 (金) 開催予定である。